

静岡市長会長賞

捨て猫たちを救うには

富士市立鷹岡中学校

一年 畑

風花

今、私たちの世界では人間以外にたくさん動物たちが自然のなかで生きぬいています。その中でも私たちの生活で一番身近な動物は犬と猫だと思います。ですが、私たちが思うほど人間と生きるということは、そんなに簡単ではないということがわかりました。私は調べた資料を見たら殺処分される猫たちは、約二十四万頭いると書いてあったので、すごくおどろきました。私の家では三匹の猫を飼っています。実は、私の家で飼っている三匹の猫たちは、みんな捨て猫で私のおばあちゃんが拾ってきたそうです。私が生まれる前からいたので、あたりまえにいっしょに暮らしていたけれど、私が小学校一、二年生のときに聞いたのは三匹の猫がみんな捨て猫だったということです。そのことを考えると、私の家にいる猫たちは一番しあわせだなと思います。毎日おいしいえさをもらって寝るところもあってそんな飼い猫たちはしあわせです。私は今まで捨て猫が多いとは思わなかったのでびっくりしました。捨て猫、のら猫、これらはみんな今でもきびしい生活をきつと送っているはずですよ。さて、それを少しでも改善するにはどうすればいいのでしょうか。

か。今、私たちに何ができるのでしょうか。私は捨て猫が少しでも殺処分されないために、こんなことを思いました。犬や猫を飼い始めたら飼い主としてしっかりと責任をもつこと、そして一番大事なことは、人間と同じように命を大切にし、むやみに猫を捨てないことが、私は一番大事だと思いました。

次は、犬や猫が年間で、どれだけ飼われているかです。資料を見てみると犬が一万二千八十九頭、猫が九千五百九十六頭でした。その中のほとんどが二人以上の世帯の人が飼っているようです。私の家も四人家族なので、それにあたります。このように、犬や猫を飼っている人は少なくことが分かりました。こんなに大事に飼っている人がいるのに、なぜ捨て猫の数が多いのでしょうか。こんなに殺処分する猫が多くていいのでしょうか。私の家の猫は、生きてから二十年たっても、まだ生き続けている猫が一匹います。拾ってきたからずっと大事にしていたので、ここまで長生きできているんだと思います。猫の気持ちも考えることが大切なんだとも思います。みなさんは捨てられた猫たちの苦しみを少しでも考えたことがありますか。捨て猫たちを救うには一人一人の意識、そして命を大切にすることが大事だと思います。私は大人になったらこの問題を解決できるような人になりたいです。